

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟市巻ほたるの里公園		
管 理 者 名	株式会社福井開発	指 定 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担 当 課	西蒲区産業観光課（じょんのび館、角田山自然館）、建設課（多目的広場）		
所 在 地	新潟市西蒲区福井4067番地		
根 拠 法 令			
設 置 条 例	新潟市巻ほたるの里公園条例		
施 設 概 要	【じょんのび館】 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積3,070.51㎡ 用地17,783.88㎡ 浴室2、露天風呂2、サウナ、貸室7、食堂 【角田山自然館】 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積456.30㎡ 展示室、ギャラリー 【多目的広場】 用地45,473.03㎡		

施 設 設 置 目 的
市民に保健及び保養並びに自然散策の場を提供することにより、余暇活動，健康の増進及び生活文化の向上に寄与することを目的として、新潟市巻ほたるの里公園を設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
新潟市巻ほたるの里公園（以下「ほたるの里公園」という。）の管理運営にあたっては、市民の余暇活動の充実を図る観光施設として、また、健康寿命の延伸を目指す健康づくりの施設として活用することを目指すものとし、次の各事項に留意して事業を行う。 1 市民が広く利用する公の施設であるという性格を十分認識して、管理運営を行うものとする。 2 利用者の安全を最優先に考え、利用者にとって快適な環境を提供するものとする。 3 日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を安全で良好な状態に保つものとする。 4 利用者の確保に向け、地域との連携や周辺自然環境の有効活用に配慮し、創意工夫をもって魅力ある施設運営を行う。 5 地域との連携にあたっては、公の施設の公益性に鑑み、公平・中立な立場で運営にあたるものとする。 6 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行う。 7 指定管理者制度を理解し、実践する。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	じよんのび館利用者数	年160, 000 人以上	183,798人 昨年対比114.9%と魅力あるイベントやWEB広告を使用して集客で大幅に向上した。	A	大幅に達成している。
	角田山自然館	角田山にちなんだ取り組みを年3回以上実施	年間を通じて角田山の魅力を発信する活動を展開。 ①角田山トレッキングガイド、花の手帖、パッチ販売PR ②「角田山ロゲイニング」協賛・運営協力、チェックポイントにも設定し利用者を誘致 ③角田山の杉を使用した長生き風呂を開催	B	
	多目的広場	異常発見時、速やかに報告	異常時は即時報告	B	
	利用者満足度	利用者アンケートで「満足」および「やや満足」が80%以上	満足・やや満足 78% 昨対比: ▲5% 利用者のご意見に対して、できる限り迅速に改善を行い、利用者満足度向上を図ったが、12月のタワー入館の制限撤廃後、タワー入館に関する不満のご意見をいただくようになり評価指標を下回った。	C	目標を達成するよう努力されたい。
	市民の健康増進への寄与	健康増進事業の実施	各種事業への協賛 市民が気軽に参加できる形の「肩・腰すっきり教室」を毎週開催	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には原則5営業日以内に回答	速やかに対応 事故は即時報告	B	
財 務	財務管理	半期ごとの経営評価会議の実施	月1回以上実施 毎月評価会議を実施している。	A	毎月実施している。
	健全な事業運営	収支計画の数値を達成するとともに、安定・継続的な財務運営を行う。	計画的な収支計画に基づき継続的な経費削減に取り組んでいる。	B	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
業 務	事業の適正な実施	事業計画に基づく事業の実施	実施している	B	
		運営マニュアルの作成	作成している	B	
	事業報告	定められた期日までに提出	遵守している	B	
	市民協働の推進, 地域, 関係団体との連携	年1回以上実施	年12回実施	A	地域の事業者や学校など多くの団体と連携している。
	安全安心の確保, 緊急時の対応の適切さ	防災・非難訓練の実施, 危機管理マニュアルにそって発生時, 迅速, 誠意を持って対応	年2回実施 傷病者発生時は、迅速かつ誠意を持って対応し救命救急士に繋いでいる。	B	
	衛生管理の徹底	新潟市公衆浴場法施行条例の遵守	源泉槽清掃、配管洗浄など、条例で決められた頻度以上の衛生管理を徹底し遵守している。	B	
	温泉井戸の管理	定期的な水位の把握と報告	異常に気づけるように、毎日水位計の数値を記録管理している。また、源泉設備保守点検により流量・電圧の異常を把握することで故障を未然に防げる体制ができています。	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	整備済み 職員研修実施	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
人 材	職員の業務理解度能力向上	職務に応じた実務研修の実施	毎月の休館日に全体ミーティングで問題や課題を洗い出し、改善に向けて全員で話し合い共有する場を設けている。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和7年度は、年間入館者数183,798人(昨対比114%)となり年間目標を上回る実績となりました。
 主な要因として、「森のサウナ」のリニューアルや熱波イベントの開催により、ニフティ温泉年間ランキング全国8位に選出されるなど、サウナ施設としての認知度が向上したことに加え、地元酒蔵と連携した「日本酒風呂」や選挙割など、地域とのつながりを意識した取り組みを実施したことが挙げられます。
 令和8年度も体験価値の深化と地域との連携を深め、持続可能で地域に愛される施設運営を目指してまいります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

多くのイベントを行うことで、地域との連携を深め、入館者数の増加につながった。その一方で、アンケート評価の目標達成には至っていないことから、適切な施設運営や魅力的な企画を通じて、地域に愛される施設運営となることに期待する。